

# 木協通信

第36号  
発行年月日  
平成27年4月1日  
日田市南友田100-1  
日田木材協同組合  
総務企画委員会発行  
TEL24-2167

## ★日田木材協同組合百年を語る

また、昭和十一年、九州木材業連合大会が日田で開催され、これを記念して、九州中央新聞社が、昭和十一年七月二十五日に発行した小冊子「歪価一円」 天下に誇る日田林業」に

日田郡林業界の総元締である日田郡木竹商同業組合は日田町大字隈九七番地に在り、通称横江館と称し、三隈川畔に臨み、景勝日田の代表亀山公園を川下に眺める日田の繁華街田中町の旅館料亭櫛比の間に、日田木材組合販売所と称し明治十七年の頃より現存し」と書かれている。

明治十七年には新政府によって、同業組合準則が制定されていることを考え合わせると、日田郡最大の産業である木材業者の組織として、明治十七年組合が設立されたことも想像に難しくない。

しかし、前記明治十七年の治川料規則が木屋方、船方、物産方協議のうえとあるところからすると、当時、組合が存在していたかどうか、若干の疑問はある。

次号へ続く

## ★平成27年度の輸出事業についての情報交換

日時 平成27年3月12日(木) 13日(金)

訪問先 韓国 釜山 パク商事 パク社長 同行者 日田市 林業振興課 主査 永楽氏 ○パク商事

空港に、パク氏の出迎えを受け、30分ほどの流通団地内のパク商事の事務所にて「自然と共に」のキム社長と会談しました。昨年7月の訪日以来の再会であります。

キム社長からは、ネットを利用した日田材を使った家屋の販売状況について説明を受けた。自然と共にのホームページ

（www.nim.or.jp）について詳しく聞いたが、かなり充実した内容になっている。日田木材協同組合もしっかり掲載されて、提携関係をネットのポータルサイトとしてアピールしている。日本から輸入したラミナを現地で集成しログハウスの建築している。建て方は、日本のような大工はいないのでほとんどセルフビルドだそう。それでいて坪単価100万円程度だそう。外層をヒノキとしスギを中にはさんだハイブリット型の集材も提案されていた。従来は、公共事業が中心だったがこれからは民需を中心に考えているそうだ。ヒノキ神話が現在、ピークなので、この後は必ずスギが注目されるとキム社長

いので、是非作成してもらいたいと依頼されました。スギが健康に良いことの宣伝を日田木協に役割分担してほしいとのことであった。

現在35坪の10棟ほどの造成地があるので、ここに日田のスギを使った民間の建物を建設し「スギムラ」と呼びたいと何度も言っていた。来年度は、これが実行され販売促進できればと思う。

パク氏からは、博多IIプサンのコンテナの運賃の質問を受けた。愛媛県からの依頼を受け愛媛材の販売も手掛けているようです。

は予想している。ヒノキの良いところを述べた動画は韓国には多く出回っているが、スギの同様の動画等が無



【「自然とともに」建設中のビジターセンターの風景】

## ○NICE・KOREA

翌日は、昨年完成したばかりのNICE KOREAを訪問した。㈱ナイスの完全子会社でプサン新港にある物流倉庫会社である。1万坪の敷地に5千坪の倉庫があり、内部はほとんどが欧州材であった。米加材は、航路が近いので日本へ直接の方が効率的だそう。プサンで大量のコンテナを受けて需給調整し、日本の各港へ必要なだけ小分けして送る構想である。一部にはナイス関連ではない韓国内の荷主の荷物もあった。ナイスからの出向者である日本人3名と7名の韓国人スタッフの構成であった。日本からの輸出は、徳島小松島のナイスの

製材工場の製品が展示会向けにサンプルで入荷しただけとのことであった。まだ、設立間もなく日本の市況も良くないので採算性は低いようだが輸出入の両方で、今後注目したい。



【NICE・KOREAにて】

## ★日田林工の新案内看板の製作

木協と河川工事担当の川浪組、林工美術部の生徒で共同製作しています。3月24日に除幕式がありました。



## ★お知らせ

### ○役員任期満了に伴う役員選出について

組合員の平等と権利を尊重して、役員選挙を指名推薦方法にて行ないます。

- ・投票場所 日田木材協同組合一階会議室
- ・投票期間 平成27年4月8日～10日
- ・投票時間 午前8時30分～午後5時30分
- ・4月1日、郵送にて役員推薦投票実施要綱をご案内しております。

### ○林業新知識 3月号

（有）安心院製材所の記事が掲載されています。木協事務所でもご覧いただけますのでご利用ください。

